

(令和7年6月2日発行)

千葉県農林水産技術会議

5月7日にふさなみ、ふさみ丸で行った東京湾水質調査結果をお知らせします。

図4 水質調査点
(実線は調査ライン)

【赤潮】

透明度は、内湾で 1.7～3.0 m、内房海域で 3.0～15.0m でした（図 5）。植物プランクトンの指標となるクロロフィル a 濃度は、内湾で 10～30 $\mu\text{g/L}$ 、内房海域で 5 $\mu\text{g/L}$ 以下～17 $\mu\text{g/L}$ でした（図 6）。赤潮は確認されず、プランクトンの優占種は、珪藻コシノディスカス属、スケルトネマ属などでした。

千葉県の赤潮の目安

色	オリーブ～褐色
酸素飽和度	150 % 以上
透明度	1.5 m 以下
pH	8.5 以上
クロロフィル a	50 $\mu\text{g/L}$ 以上

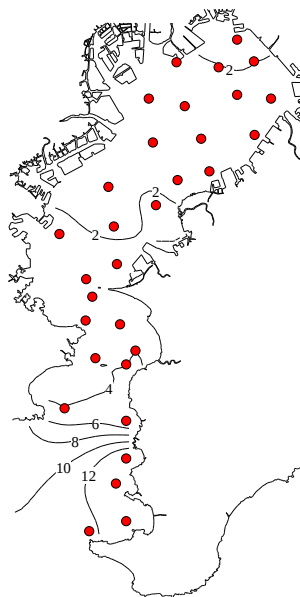


図 5 透明度

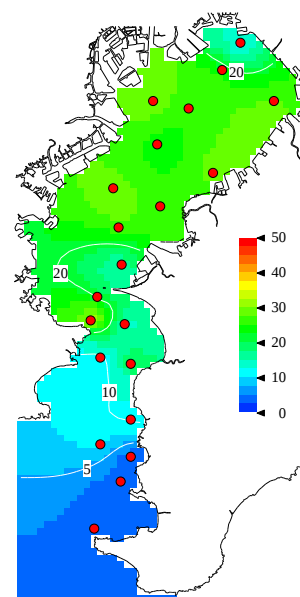


図 6 クロロフィル a 濃度

【貧酸素水塊】

貧酸素水塊は内湾北部に分布していました（図 7, 8）。

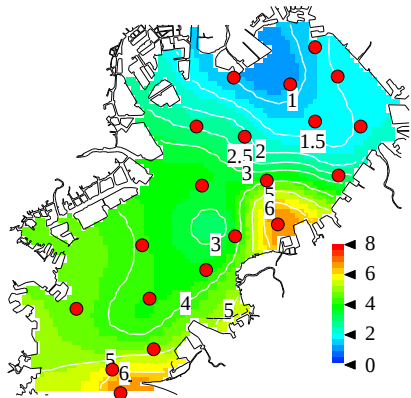


図 7 内湾底層の溶存酸素量 (ml/L)

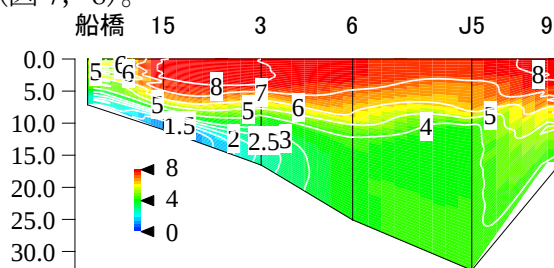


図 8 内湾縦断面の溶存酸素量 (ml/L)

貧酸素水の基準

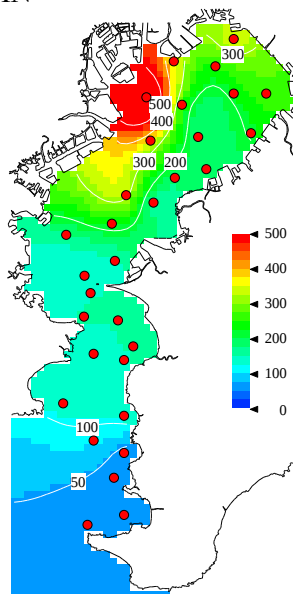
溶存酸素量	2.5 ml/L 以下
酸素飽和度	50 % 以下

【栄養塩】

表層の窒素 (DIN) は、内湾で 111～650 $\mu\text{g/L}$ 、内房海域で 28～137 $\mu\text{g/L}$ でした。表層のリン (DIP) は、内湾で 5 $\mu\text{g/L}$ 以下～79 $\mu\text{g/L}$ 、内房海域で 5 $\mu\text{g/L}$ 以下でした（図 9）。

最近 10 年間の平均値と比べて、窒素は全域で平均値並みかやや多く、リンは、船橋を除いた全域で平均値並みかやや少ない状況でした（表 1）。

DIN



DIP

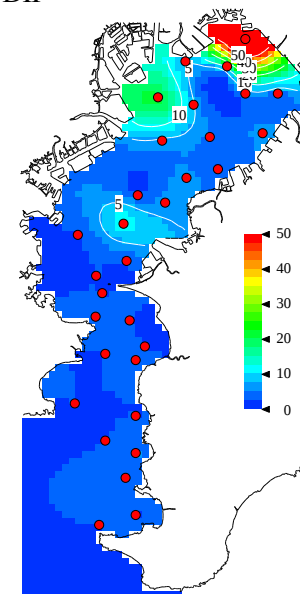


図 9 表層の栄養塩濃度 ($\mu\text{g/L}$)

【黒潮】

黒潮はB型流路でした。黒潮は房総半島の沖を離岸して流れており、東京湾口への暖水波及はみられませんでした（図10）。

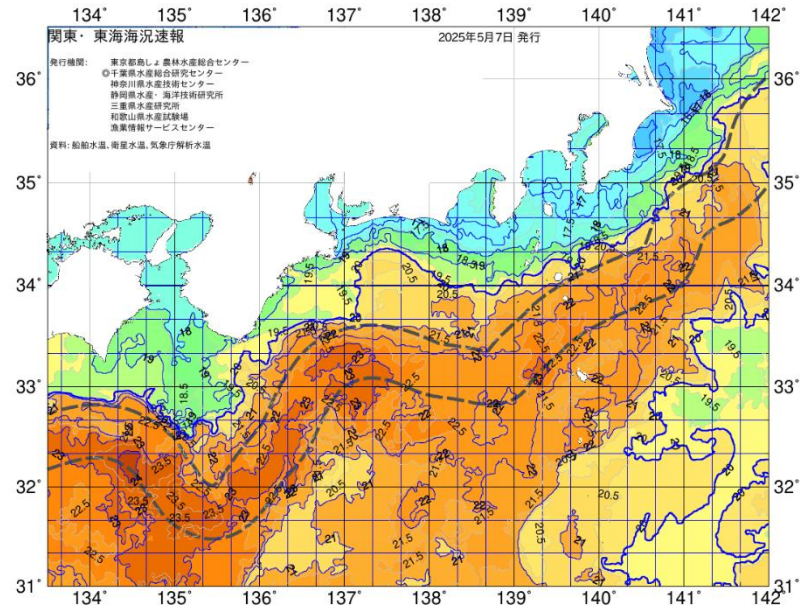


図10 黒潮の動き（令和7年5月7日）

表1 主な調査点の水質調査結果（表層，溶存酸素量のみ底層）
（ ）：最近10年間の平均値（2015～2024年）

調査点		水温 (℃)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存 酸素量 (μg/L)	アンモニア態 窒素 (μg/L)	溶存無機態 窒素 (μg/L)	リン酸態 リン (μg/L)	クロロ フィルa (μg/L)
内 湾	船 橋	17.4 (19.1)	30.3 (29.25)	2.7 (2.3)	8.5 (8.4)	1.2 (5.0)	97.6 (68.1)	333.6 (291.8)	79.8 (17.2)	10.1
	st.15	18.3 (18.9)	27.4 (29.2)	1.9 (2.1)	9.0 (8.5)	0.5 (3.5)	16.2 (44.3)	229.9 (244.1)	7.7 (11.2)	23.0
	st.3	18.0 (18.4)	27.1 (29.6)	1.9 (2.5)	9.0 (8.5)	2.2 (3.2)	16.7 (24.7)	256.2 (221.2)	6.2 (4.5)	24.1
	st.6	17.9 (18.2)	27.2 (29.7)	1.8 (3.2)	8.9 (8.5)	3.5 (4.1)	14.5 (44.5)	341.6 (251.4)	4.1 (7.4)	22.3
	st.9	18.3 (18.1)	28.4 (31.5)	1.8 (3.8)	9.0 (8.4)	3.9 (4.4)	14.2 (19.6)	232.9 (139.3)	9.8 (3.6)	26.1
	st.BC (盤洲Cブイ)	18.5 (18.8)	29.1 (31.0)	1.8 (3.0)	9.0 (8.4)	6.4 (4.7)	14.9 (29.0)	183.1 (147.3)	0.0 (4.7)	27.7
	st.8 (盤洲A南)	18.1 (18.2)	30.1 (31.8)	2.1 (3.6)	8.9 (8.3)	3.2 (4.3)	15.0 (30.4)	149.6 (137.6)	3.5 (4.6)	24.7
	富 津	17.5 (17.5)	31.3 (32.1)	2.4 (3.8)	8.7 (8.3)	4.0 (5.0)	22.1 (40.2)	128.7 (159.7)	0.0 (3.4)	14.1
内 房 海 域	st.2KH (第2海ほ下)	17.6 (17.6)	31.4 (32.5)	3.0 (4.2)		6.6 (5.7)	16.9 (22.5)	129.9 (116.1)	0.0 (4.2)	18.9
	st.31	17.6 (17.4)	32.1 (32.7)	4.0 (4.9)		6.1 (5.6)	14.3 (12.7)	109.1 (119.2)	0.0 (3.9)	9.1
	st.23	17.3 (18.2)	32.8 (33.7)			6.0 (5.5)	17.0 (12.7)	83.3 (46.8)	0.0 (2.1)	7.9
	st.1	17.0 (18.1)	34.2 (34.3)			11.0 (12.4)	5.8 (5.7)	18.0 (11.6)	29.9 (41.3)	0.0 (2.6)
	st.10 (下洲沖)	17.1 (17.8)	31.6 (32.9)	3.0 (4.6)		7.2 (5.7)	17.0 (14.3)	136.9 (84.4)	0.0 (3.0)	13.1
	st.12 (湊沖)	17.7 (17.8)	31.0 (32.9)	4.0 (4.7)		7.4 (5.9)	15.3 (11.9)	137.1 (75.2)	0.0 (2.1)	
	st.22 (保田沖)	17.5 (18.1)	31.8 (34.0)	4.0 (9.1)		6.3 (5.6)	16.0 (7.6)	114.8 (29.6)	0.0 (1.7)	
	st.24 (富山沖)	17.0 (18.2)	34.4 (34.1)	15.0 (10.0)		6.2 (5.6)	18.3 (9.0)	35.4 (27.9)	2.7 (1.8)	0.6
	st.26 (館山湾内)	17.1 (18.2)	34.3 (34.1)	14.0 (11.5)		6.1 (5.7)	16.9 (6.7)	28.5 (22.8)	0.0 (1.8)	

注) ※ 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示します。